

製品名: AMACR マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80610**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	AMACR
別名	RACE
遺伝子 ID	23600.0
SwissProt ID	Q9UHK6
免疫原	大腸菌で発現したヒト AMACR の精製された組み換え断片。

背景

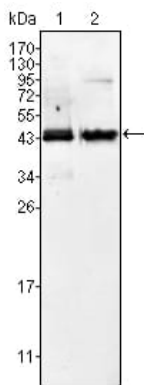
AMACR (α -メチルアシル CoA ラセマーゼ) は、分岐鎖脂肪酸の β 酸化に関与するタンパク質をコードする前立腺癌特異的遺伝子として最近発見されました。AMACR タンパク質の発現は前立腺腺癌で認められますが、良性前立腺組織では認められません。このタン

PAK質は、前立腺の前癌病変である高度前立腺上皮内腫瘍（PIN）および非典型腺腫性過形成を染色します。AMACRはPINの陽性マーカーとして使用できます。AMACRの欠陥は、先天性胆汁酸合成欠損症4型（CBAS4）の原因です。これは、胆汁中のトリヒドロキシコプロスタン酸からコール酸またはトリヒドロキシコプロスタン酸への変換に欠陥がある、肝内胆汁うっ滞としても知られています。臨床的特徴には、新生児黄疸、肝内胆汁うっ滞、胆管不全、胆汁中のコール酸の欠如などがあります。

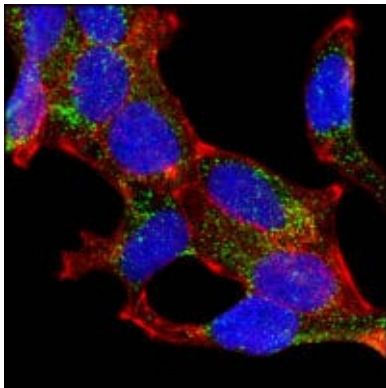
研究分野

-

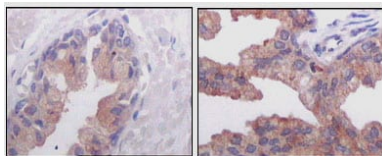
画像データ



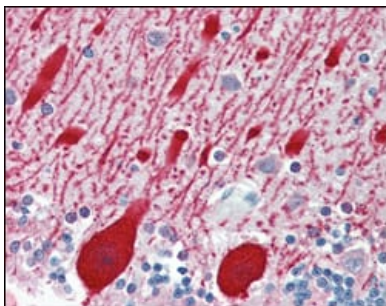
Jurkat (1) および LNCaP (2) 細胞溶解物に対する AMACR マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



AMACR マウス mAb（緑）を用いた LNCaP 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤：アクチンフィラメントは DY-554 ファロイジンで標識されている。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



パラフィン包埋ヒト正常前立腺組織（左）および前立腺腺癌組織（右）の免疫組織化学分析。DAB 染色による AMACR マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。



AMACR マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳小脳の免疫組織化学分析。

